

番号	資料番号	ページ	質問	回答
1	資料2-1	2,3	ワーケーションプログラム、コミュニティイベント、起業創業マインド醸成セミナー及び起業家育成講座のそれぞれの参加者数を教えてください。	・ワーケーション推進プロジェクト 12回 計95人 ・コミュニティイベント 9回 計79人 ・起業創業マインド醸成セミナー及び起業家育成講座 5回 計160人
2	資料2-1	2,3	<p>内閣府によると、「デジタル田園都市国家構想とは、「デジタル実装を通じて地方が抱える課題を解決し、誰一人取り残されずすべての人がデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしを実現する」という構想です。」とあります。</p> <p>具体的な方針として、「デジタルの力を活用した地方の社会課題解決」、「構想を支えるハード・ソフトのデジタル基盤整備」、「デジタル人材の育成・確保」及び「誰一人取り残されないための取り組み」とあります。</p> <p>これらの記述からは、デジタル田園都市国家構想では、基本的にはデジタルやDXの観点からの政策が期待されているかと思います。</p> <p>(内閣府「デジタル田園都市国家構想」 <a href="https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/index.html">https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/index.html</a>)</p> <p>この点、たとえば、「快生館」のワークスペースにおける通信環境やデジタル機器の貸し出しなどの状況はいかがでしょうか。</p> <p>また、起業家育成支援プロジェクトでは、特にデジタルを利用したビジネスを促進する取り組みはございますか。</p>	<p>快生館のワークスペースにおける通信環境は、館内全体で利用できるWi-Fiだけでなく、スモールオフィス、フリースペースの各部屋に専用のWi-Fi回線を用意しています。</p> <p>デジタル機器の貸し出しについて、プロジェクター、スクリーンの無料貸出があり、合宿やセミナーにおいて活用されています。また居室や出入り口の管理はスマートロックと呼ばれる電気錠を利用しております。</p> <p>起業家育成支援プロジェクトでは、DXをテーマとはしておりませんが、多様な働き方の一つとして、テレワークを活用した起業や副業を紹介する内容を実施しました。</p>
3	資料2-2	2	<p>A I オンデマンドバスの乗合率とバスを使って一人で外出している高齢者の割合のK P Iを達成していますが、年間利用者数は目標を大きく下回っています。</p> <p>この主な要因をご教示願います。</p>	年間利用者数については、説明会等を実施したものの認知度が想定より低いものであったこと、併せて、利用のしやすさ等についてご理解いただける状態でなかったことから、低くなったものと考えられます。バスを使って一人で外出している高齢者の割合及び乗合率については、A I オンデマンドバスのべ利用者の半数以上が70歳以上の高齢者であること、需要のある時間帯が重複していることによるものと考えられます。